

管理番号	検査項目	掲載日
9-D-16	エスカレーター駆動鎖切断時停止装置の判定基準	2017-03-24

1. 適用

駆動鎖を有するすべてのエスカレーターに適用します。

2. 検査方法

駆動鎖切断を検出した場合、停止機構が作動することを確認します。

2. 1 すり板が上側の駆動鎖にある場合

2. 1. 1 ラチェットポールとラチェットホイールが噛み合う場合

- (1) レバーからすり板を外し、ラチェットポールがラチェットホイールに接触することを確認します。
- (2) エスカレーターを手巻きで上昇させ、ラチェットポールがラチェットホイールの谷部と噛み合う位置になることを確認します。

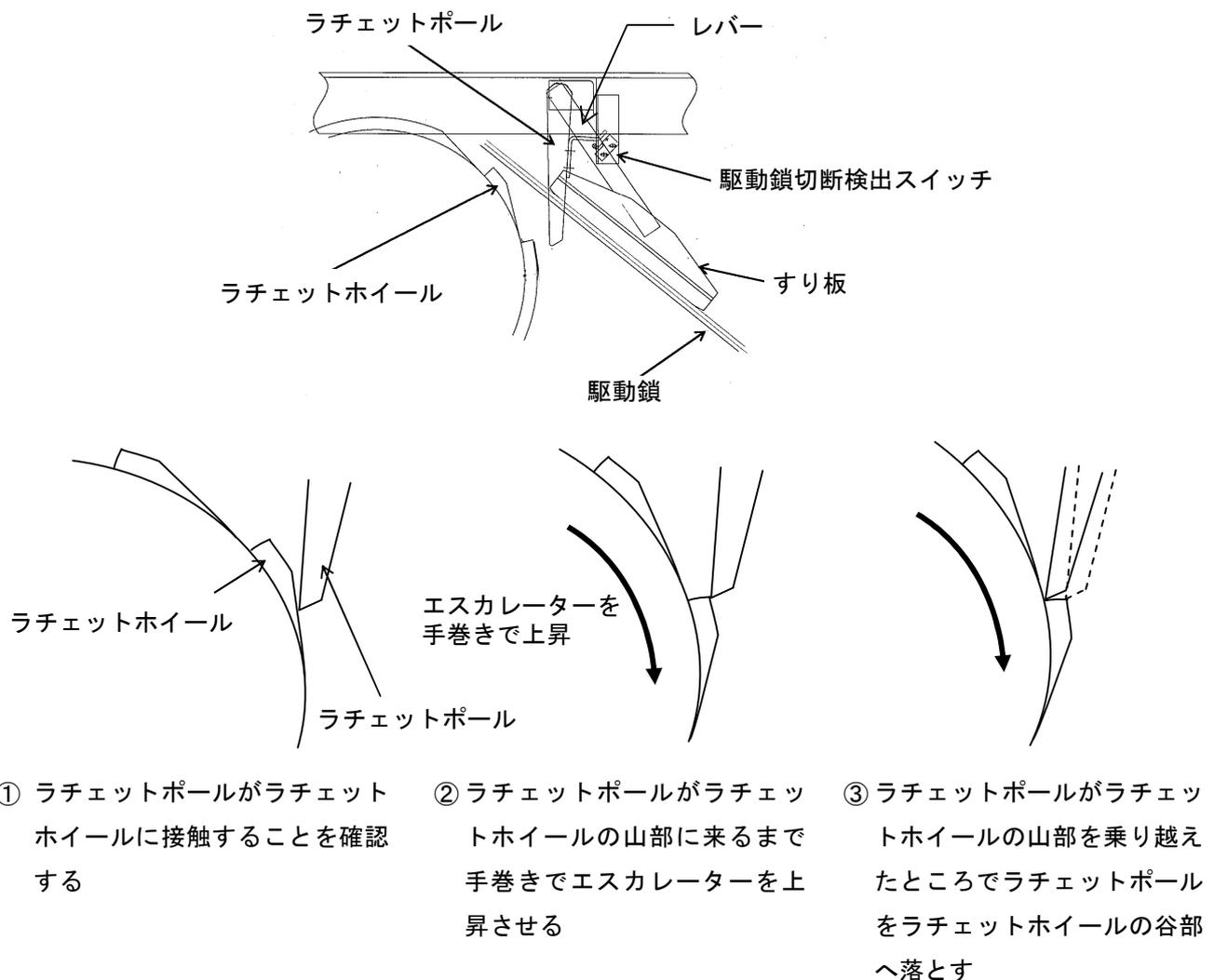


図 1. 概略図

管理番号	検査項目	掲載日
9-D-16	エスカレーター駆動鎖切断時停止装置の判定基準	2017-03-24

2. 1. 1 ラチェットポールとラチェットホイールが噛み合わない場合

- (1) すり板を設置した状態で手巻きでエスカレーターを上昇させ、すり板側の駆動鎖を張ります。
- (2) ラチェットポールとラチェットホイールの隙間Aを測定します。

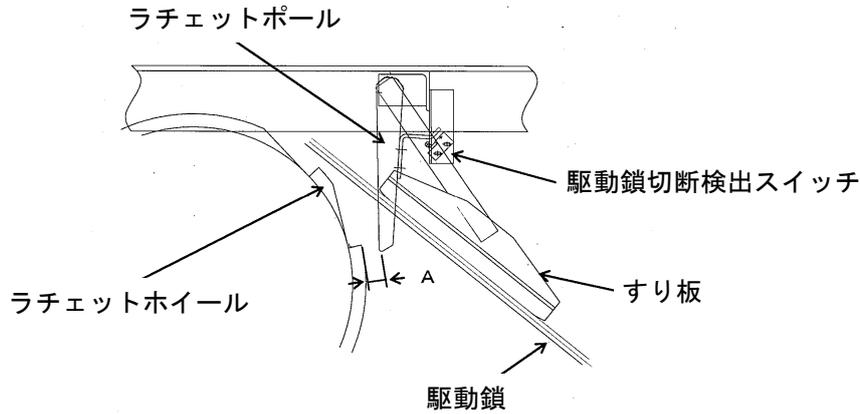


図2. 概略図

2. 2 すり板が下側の駆動鎖に設置されている場合

- (1) すり板アームからすり板を外し、ラチェットポールがラチェットホイールに接触することを確認します。
- (2) エスカレーターを手巻きで上昇させ、ラチェットポールがラチェットホイールの谷部と噛み合う位置になることを確認します。

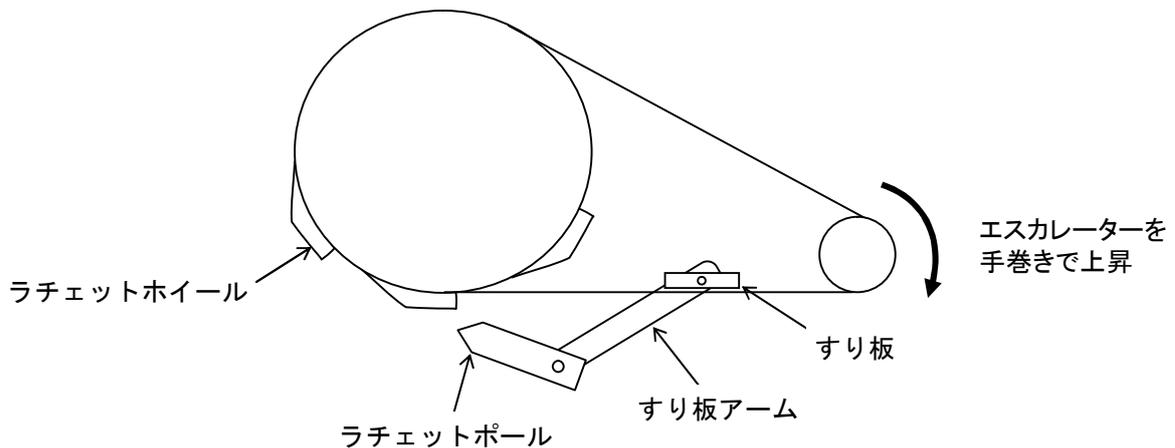


図3. 概略図

管理番号	検査項目	掲載日
9-D-16	エスカレーター駆動鎖切断時停止装置の判定基準	2017-03-24

3. 判定基準

3. 1 すり板が上側の駆動鎖にある場合

3. 1. 1 ラチェットポールとラチェットホイールが噛み合う場合

レバーからすり板を外した状態で、レバーが駆動鎖に干渉せず確認ができる場合
ラチェットホイールとラチェットポールが噛み合わない場合は、要是正です。

3. 1. 2 ラチェットポールとラチェットホイールが噛み合わない場合

レバーからすり板を外してもレバーが駆動鎖に干渉し接触の確認ができない場合

2. 1. 1の検査方法で測定した結果、表1の寸法を満たしていない場合は、要是正です。

表1. 判定基準

すり板位置	測定寸法 A mm
上	70±2

3. 2 すり板が下側の駆動鎖にある場合

レバーからすり板を外した状態で、レバーが駆動鎖に干渉せず確認ができる場合
ラチェットホイールとラチェットポールが噛み合わない場合は、要是正です。